

# 宮崎県拠点だより



## 九州初、子実用とうもろこし生産・利用に関する研修会の開催 ～地域で生産した飼料穀物によるプレミアムな豚肉生産を目指す～(都城市)

都城市の養豚事業者が子実用とうもろこしの生産・利用に取り組み、地域への普及を目的とした研修会が8月19日(月)都城市内で行われました。我が国はとうもろこしをはじめとする飼料穀物を年間1,300万トン輸入しており、輸入への過度な依存から脱却するためには、国内で飼料穀物の生産・利用に取り組むことが重要となっています。

この取組は、都城市の養豚業者が地域で生産したとうもろこし、大麦、大豆を給与したプレミアムな豚肉を生産したいとの思いがあり、国の事業を活



子実用とうもろこしの事例紹介



収穫前のほ場



完熟・乾燥したとうもろこし



アタッチメント装着の収穫機



収穫したとうもろこしの子実

用して、子実用とうもろこしの栽培に取り組みました。当日は雨天にもかかわらず、九州で初めて実証展示ほ場が設置されたということもあり、県内外から多数の参加者が集まり、生産・利用の事例紹介のほか、収穫機や収穫された子実用とうもろこしの見学会が行われました。

これを機に、南九州地域における子実用とうもろこしの生産・利用が期待されます。

## 楽しみながら西米良をサポート

### ～学生向け滞在型アルバイトの実施～(西米良村)

今回は、西米良村(むら創生課)で取組中の「米良(めら)バイト」を紹介します。

「米良バイト」とは、学生向けの滞在型の企画で、2017年から実施しています。西米良で仕事をしながら自然に親しみ、村で行われるイベント等への参加を通じて村民と交流を深めるなど、繁忙期を迎える農業等のお手伝いをしながら、西米良村を楽しんでもらう企画となっています。

九州各地から参加があり、リピーターもいます。参加者は村内合宿施設で宿泊しますが、宿泊施設使用料は補助により無料(寝具持参すれば負担金はゼロ(有料の貸布団あり))で、バイト期間

中は、飲食代などその他滞在中にかかる費用が個人負担となりますが、交通費の補助や送迎もあり、学生が参加しやすいよう工夫されています。

バイト内容は、特産品のゆずやカラーピーマンの収穫、ゆず加工所での作業等、季節や天気に応じた内容となります。

さらに、バイト以外にも、川遊びや神楽、メランピック(村民運動会)など村のイベントへの参加の他、運が良ければ、イノシシの解体体験もあるとのこと。

村は、村外の若者に来てもらうことにより、村の活性化につなげたい考えです。



柚子胡椒用の皮むき作業



カラーピーマンの収穫



カラーピーマンの磨き作業

# みんなで地域農業の将来について 話し合しましょう！

5年後はもう無理だな

うちの集落も、ずいぶん耕作放棄地が増えたなあ

農地を荒らしたくはないなあ

息子は帰ってこなし、どうしたものかなあ。  
誰に農地を頼んだらいいか、わからないし。

自分たちができなくなったら、この地域の農業はどうなるのだろう・・・

後継者のいる農家も少ないし・・・

みんなで今後の地域の農業をどうするか、  
真剣に考える必要があるな！

- 地域の農業の将来に不安はありませんか？
- 5年後、10年後の地域の農業について話し合ったことがありますか？
- このままで、地域の貴重な資源である農地を守っていけますか？

皆さん、この先、自分達の集落はどうなるのか、不安を感じたことはありませんか。  
このままにしておいていいですか？

皆さんが動かなければ、何も変わりません。  
自分達の集落の将来を決めるのは、皆さん自身です！

時間はあっという間に過ぎていきます。  
集落の現況を把握した上で、自分達の集落、農地をどうしていくか、皆さんで話し合しましょう！！

まずは、皆さんの身近にいる、役場の職員、農業委員、農地利用最適化推進委員、JAの営農指導員、土地改良区の理事、農地中間管理機構の農地利用推進員の方々に相談してみてください！！

## 地方参事官ホットライン

TEL 0985-24-2365

FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容や、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

## 農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。